

■マルチパート・メールのPHPライブラリ関数「mail_mpart_lib.php」仕様

作成: 2014.06.30 yoshi

◇送信 マルチパート・メール送信の関数の利用形態

- ・連想配列で、メール送信のデータを「参照渡し」で受け渡す(引数)
 - ・送信結果は、送信OKのとき「true」、送信失敗のとき「false」を戻す(戻り値)
- 「関数利用」

```
$jdg = mail_send($mail_param);
(引数)    $mail_param : メール送信データのパラメータ指定
```

パート	パラメータ 連想配列のキー	パラメータ(キー)の内容	必須:○ 省略:×	形式
ヘッダ	from	送信元メールアドレス	○	文字列
	to	送信先メールアドレス	○	文字列
	cc	CC:送信先メールアドレス	×	文字列
	bcc	BCC:送信先メールアドレス	×	文字列
	subject	メールの件名	○	文字列
本文	body	メールの本文テキスト	○	プレーンテキスト
	html	メールの本文HTML	×	HTMLの文字列
添付	attach	添付ファイルは、配列指定	×	配列(複数個可能)

- ・配列の添付ファイルデータ指定は、“ファイルパス”でファイルタイプ(省略可能)を指定する場合は「;」区切で“ファイルタイプ”を指定する。
 - ・ファイルタイプを省略した場合は、拡張子で画像を判断(jpg, jpeg, png, gif, tif他)し、画像でない場合は、「application/octet-stream」を設定する。
- [例]: プレーンテキスト → 'file/mail_detail.txt;text/plain'
 JPEG画像 → 'file/sample.jpg:image/jpeg'

◇受信 マルチパート・メール受信(一括)の関数の利用形態

- ・連想配列で、メール受信のデータを「参照渡し」で受け渡す(引数)
 - ・受信メール用データエリアは、主プログラムで配列クリアしておく必要があります。
 - ・受信結果は、送信OKのとき「true」、送信失敗のとき「false」を戻す。
- 得られた受信データは、「参照渡し」で2次元配列であり、各メールは連想配列(戻り値)となります。
- 「関数利用」

```
$jdg = mail_recieve($mail_param, $mail_box);
(引数)    $mail_param : メールサーバ接続条件のパラメータ指定
           $mail_box  : 受信メールデータの配列 ←主プログラムで$mail_boxをクリア
```

項目	パラメータ 連想配列のキー	パラメータ(キー)の内容	必須:○ 省略:×	指定例 / 備考
接続条件	server	接続メールサーバ	○	{localhost:110/pop3}INBOX
	user	メールサーバの接続 USER-ID	○	user1
	password	メールサーバの接続パスワード	○	user1234
	delete	受信ボックスからメール削除するとき指定	×	on (文字列であれば何でも良い)
	crlf	本文プレーンテキストの改行の指定	○	 %n
受信データ	subject	メールの件名	○	
	date	送信日	○	
	from	送信元メールアドレス	○	
	name	送信者の名前	×	
	bodyの[text]	本文のプレーンテキスト	○	
	bodyの[html]	本文のHTMLデータ	×	
	bodyの[file]	添付ファイルのファイル名	×	[file名] tab区切 [fileタイプ]形式
bodyの[data]	添付ファイルのデータ	×	バイナリーデータで出力のこと	

- ・bodyの連想配列内に[text]、[html]、[file]、[data]の2次元連想配列となります。
- ・添付ファイル: bodyの[file]データがある場合、ファイルの保存方法は「指定した保存エリアのパス+ファイル名」で bodyの[data]をバイナリーモードで出力すると保存できます。